



NEW STAFF

新人自己紹介

柳井 毅

やない・たけし

理論・計算分子科学研究領域
理論分子科学第一研究部門 准教授

平成19年1月より、理論・計算分子科学研究領域で新しい量子化学の理論グループとしてスタートしました。着任前は、米国の国立研究所と大学の異なる環境で転々と仕事をしてきましたが、分子研はその両方を兼ね備えたところですので、今まで培ってきた経験を存分に生かしたいと思えます。研究では、電子状態理論の新しい手法開発に挑戦し、分子科学の発展に貢献したいと思えます。

飯島 隆広

いいじま・たかひろ

物質分子科学研究領域
分子機能研究部門 助教

金沢大学大学院自然科学研究科博士後期課程を修了後、物質・材料研究機構、京都大学理学部での博士研究員を経て、1月に現職に赴任しました。固体NMRの新しい測定法の開発と、固体物質の構造及び物性解明に向けた応用研究に取り組んでいきたいと思っています。

宜しくお願い致します。

松尾 純一

まつお・じゅんいち

技術課 計算科学技術三係
技術係員

平成19年1月に沼津高専より転任してまいりました。松尾です。

7年間鈴鹿高専で学生をした上に6年間沼津高専で働き、「もう高専には飽きた！」というわけではありませんがこちらに転任してまいりました。現在岡崎情報ネットワーク管理室で仕事をしております。元々情報屋ではありませんので知識不足は否めませんが、日々勉強しお役に立てるよう頑張っています。よろしく願います。

白 大烈

BAEK, Dae Yul

光分子科学領域
光分子科学第一研究部門 非常勤研究員

I am IMS fellow and currently a member in the group of Professor Ohshima. I started my work at March 7, 2006. I had received my M.S. degree from Department of Chemistry at Pusan National University in February 2000 in Korea. Then I moved to Kobe University in Japan and studied in the dynamics of excited molecules using high resolution laser spectroscopy between October 2002 and September 2005, where I obtained PhD degree in 2005. I was a Postdoctoral researcher in University of California Davis before I come to Japan. My research activity in IMS is devoted to the molecular alignment in intense laser field.

長坂 将成

ながさか・まさなり

光分子科学研究領域
光分子科学第三研究部門 助教

平成19年3月に東京大学大学院理学系研究科で博士(理学)を取得後、平成19年4月1日より小杉グループでお世話になっております。これまでは高エネルギー加速器研究機構の放射光施設Photon Factoryにおいて、金属表面上の触媒反応の機構を調べてきました。今後はUVSORにおいて、様々な表面やクラスターの物性と電子状態の関係を明らかにしていきたいと考えています。どうぞよろしくお願い致します。

溝呂木 直美

みぞろぎ・なおみ

理論・計算分子科学研究領域
理論分子科学第一研究部門 専門研究職員

平成19年3月に総合研究大学院大学物理科学研究科にて博士課程を修了し、4月より引き続き永瀬グループで博士研究員としてお世話になっております。これまでは金属内包フラーレンの構造と化学修飾について理論研究を行ってきました。今後はカーボンナノチューブにもターゲットを広げ、機能性ナノ分子の理論設計に取り組みたいと思えます。

野田 真史

のだ・まさし

理論・計算分子科学研究領域
理論分子科学第一研究部門 研究員



今年の3月に東京大学大学院工学系研究科マテリアル工学専攻の博士課程を修了し、4月より信定グループでお世話になっております。研究室のメンバーや米満グループの方々に囲まれて、充実した日々を過ごしております。これまでは電気伝導計算や、表面の安定構造評価を行ってきましたが、今後は電子系ダイナミクスに着目し研究を行っていきます。

今後ともよろしくお願い致します。

石塚 良介

いしづか・りょうすけ

理論・計算分子科学研究領域
理論分子科学第二研究部門 研究員



総研大で博士取得後、ポスドクとして平田研でお世話になっています。初心に帰って頑張りたいと思います。

梶本 真司

かじもと・しんじ

理論・計算分子科学研究領域
計算分子科学研究部門 専門研究職員



平成19年3月に東北大学大学院理学研究科で博士（理学）を取得し、同4月より岡崎進教授のグループでお世話になっております。博士課程在学中は混合溶液の相分離過程を対象として、主にパルスレーザーを用いた時間分解分光実験による研究をしていました。現在は同じ過程を対象として分子動力学計算を行っており、相分離過程における分子集団の挙動の解明を目指しております。

よろしく申し上げます。

古屋 亜理

ふるや・あり

物質分子科学研究領域
電子構造研究部門 非常勤研究員



平成18年3月に東北大学大学院理学研究科博士課程を修了後、東北大学での博士研究員を経て、本年4月より西信之教授のグループでお世話になっています。これまでは金属イオンを含む気相クラスターの構造と光解離ダイナミクスに関して研究を行ってきました。こちらでは、金属を含むナノクラスターの性質や構造について研究を行っていきたいと思っています。よろしくお願いたします。

上 釜 奈緒子

うえかま・なおこ

物質分子科学研究領域
分子機能研究部門 非常勤研究員



平成19年3月に兵庫県立大学大学院 生命理学研究科 博士後期課程にて学位を取得し、4月に着任いたしました。これまで生化学系の研究に慣れ親しんできたのですが、分子研着任後、セミナー等で“異分野”に触れる機会が増え、かなり刺激的な日々を過ごしています。吸収したモノを、分子研でのテーマや、その先の研究人生に活かしていけたらなと思っています。所内で見かけた時は、どうぞよろしくお願いたします。

小澤 弘 宜

おざわ・ひろのぶ

生命・錯体分子科学研究領域
錯体物性研究部門 非常勤研究員



平成19年3月、九州大学大学院理学府において博士（理学）を取得後、4月より田中グループで研究に従事しています。これまでは水の可視光分解反応を行う錯体触媒の開発を行ってきました。現在は、エネルギー変換反応を可能にする錯体触媒の研究に取り組んでいます。充実した設備と素晴らしい環境の中で、楽しく研究しています。

よろしく申し上げます。

**松 浦 豊**

まつうら・ゆたか

生命・錯体分子科学研究領域
錯体触媒部門 研究員

平成19年3月に愛媛大学大学院理工学研究科物質工学専攻を修了し、同4月から魚住グループでお世話になっております。

学生時代は、主にヘテロ元素間結合の特性を活かした有機リン化合物の合成を行ってきましたが、現在はPS-PEGレジジン担持金属錯体を用いた水中での触媒反応に関する研究を行っています。

どうぞ宜しくお願い致します。

石 田 豊

いしだ・ゆたか

生命・錯体分子科学研究領域
錯体物性研究部門 研究員

平成16年3月筑波大学大学院博士課程化学研究科修了。University of California, Riversideにて博士研究員、日本学術振興会海外特別研究員を経て、4月より川口グループで研究をさせて頂いております。これまで14族元素を中心とした反応活性種の研究を行ってまいりました。最高の環境の中、典型元素と遷移金属の化学とを融合させることで新しい化学が展開出来るよう、日々頑張りたいと思います。よろしく宜しくお願い致します。

秋 山 順

あきやま・じゅん

分子制御レーザー開発研究センター
先端レーザー開発研究部門 非常勤研究員

平成19年3月に名古屋大学大学院工学研究科博士後期課程を修了し、この4月から平等グループにてIMSフェローとしてお世話になっております。専門は材料工学です。現在はセラミックレーザー媒体のマイクロドメイン構造制御に関する研究を進めています。分子研という恵まれた環境のもとで日々研究に励んでいきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

向 山 厚

むかいやま・あつし

岡崎統合バイオサイエンスセンター
戦略的方法論研究領域 研究員

平成19年3月に大阪大学大学院工学研究科物質・生命工学専攻で博士(工学)を取得後、平成19年4月より桑島グループでお世話になっております。学生時代は高温環境下で生育する微生物である超好熱菌由来の蛋白質の構造安定性を調べてきました。こちらではシャペロニンが蛋白質の折りたたみ機構にどのように関与しているのかを研究しています。

どうぞよろしくお願い致します。

安 平 健 吾

やすひら・けんご

岡崎統合バイオサイエンスセンター
戦略的方法論研究領域 非常勤研究員

姫路工業大学(現 兵庫県立大学)大学院工学研究科にて学位を取得後、本年度より青野グループでお世話になっております。これまでは人工化合物分解酵素の立体構造と機能の相関について研究してきました。本年度より気体分子センサーの機能を有するヘムタンパク質の構造・機能相関の解明を目指しています。宜しくお願いいたします。

中 村 敬

なかむら・たかし

岡崎統合バイオサイエンスセンター
戦略的方法論研究領域 研究員

平成17年3月に富山医科薬科大学大学院薬学研究科で博士(薬学)を取得後、東京大学理学部物理学科学術研究支援員を経て、本年4月より桑島グループでお世話になっております。学生時代はNMRを用いた蛋白質の立体構造解析等の研究をしてきました。現在もNMRを用いて、蛋白質のフォーリング中間体に関する研究を行っております。

よろしく御願ひ致します。

伊藤 由実

いとう・ゆみ

分子スケールナノサイエンスセンター ナノネット
物質分子科学研究領域分子機能研究部門 事務支援員



平成19年4月より、ナノネットに加えて、新たに西村グループでお世話になっております。

ナノネットの事務内容とは少し違ったところもあり、いろいろと勉強になります。

精一杯頑張りますので、よろしく願いいたします。

成島 哲也

なるしま・てつや

光分子科学研究領域
光分子科学第一研究部門 助教



平成14年3月に筑波大学大学院物理学研究科で博士（理学）取得後、産総研ナノテク部門、ダブリン大学Trinity Collegeと東大物性研を経て、5月より着任しました。これまでは、シリコン表面上の物理・化学修飾時に現れる巨視的な機械特性の起源を原子スケールまで遡り解明する研究を行ってきました。分子研では、手法・分野等にこだわらず新しいことに挑戦していこうと思います。

PAVLOV, Lubomir

光分子科学領域
光分子科学第一研究部門 研究員



My name is Lubomir PAVLOV and I came from Bulgaria, Sofia. I joined the group of Professor Yasuhiro Ohshima (Photo-Molecular Science) in June 2007 as a JSPS fellow. I received my PhD degree at the Department of Wave Processes in Moscow State University. In 1990 I was awarded of Doctor of Science (DSc) degree in Bulgarian Academy of Sciences, Sofia. My DSc thesis was devoted to Nonlinear laser spectroscopy of new type of resonances in atoms, molecules and solids. Especially, my scientific study includes Nonlinear optics and ultrafast phenomena, high-resolved transient laser spectroscopy of isotropic and condensed matter. My future research activity in IMS is mainly connected with high-resolution coherent spectroscopy of molecules and of intermolecular interactions.

降 雨強

JIANG, Yuqiang

光分子科学研究領域
光分子科学第一研究部門 研究員



I came to IMS and joined Prof. Okamoto's Group as a postdoctoral fellow in May 2007.

I graduated from Beijing Normal University in China. I went to Osaka University in 2004 as a postdoctoral fellow. I had worked there for more than two years in the field of optical trapping and its applications in biology. I am interested in building optoelectric system, developing new optics techniques, and the studies of their applications, especially in the interdisciplinary fields. In IMS, my research activities will relate to the fabrication of nanoparticles, and investigation of their near field properties, as well as their applications in biology.